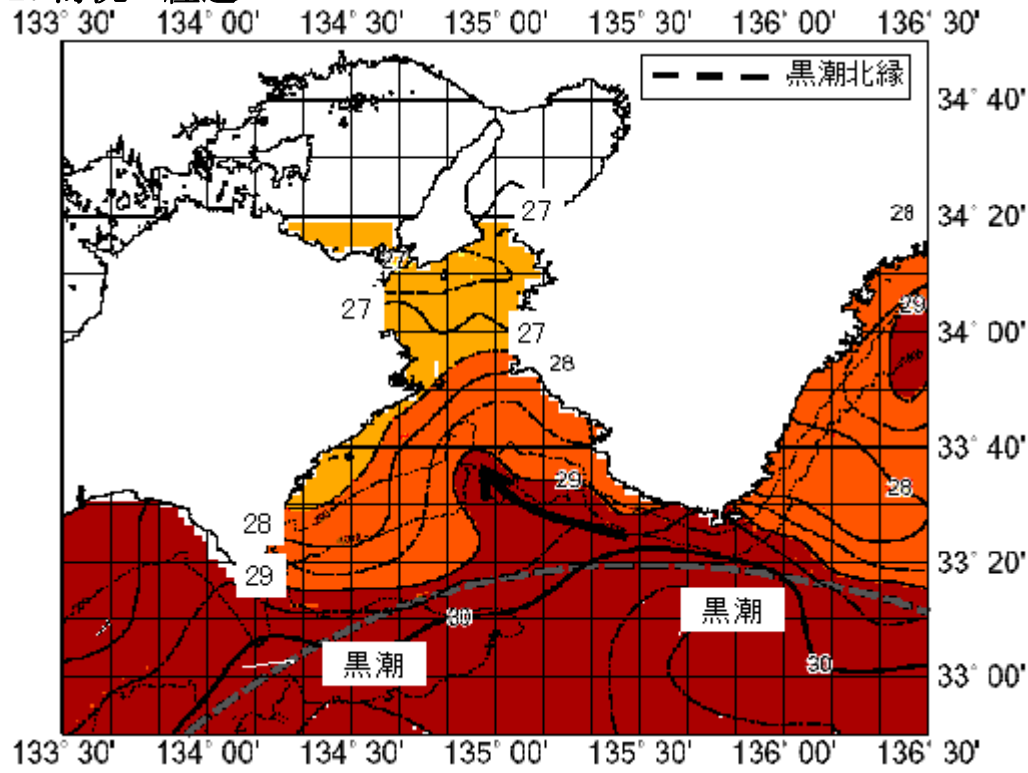


1. 海況の経過



海況

上に千葉県、東京都、神奈川県、静岡県、三重県および和歌山県が共同で作成した海況図(H20.07.28)を示した。

黒潮は室戸岬沖及び潮岬沖で接岸している。黒潮本流の表面水温は29～30℃台である。

表面水温は播磨灘が26℃台、紀伊水道内部が26～27℃台、外域が27～29℃台である。

先週に引き続き、晴天が続いているため、表層の水温が上昇している。紀伊水道外域においては、和歌山県側から黒潮系水が波及している。

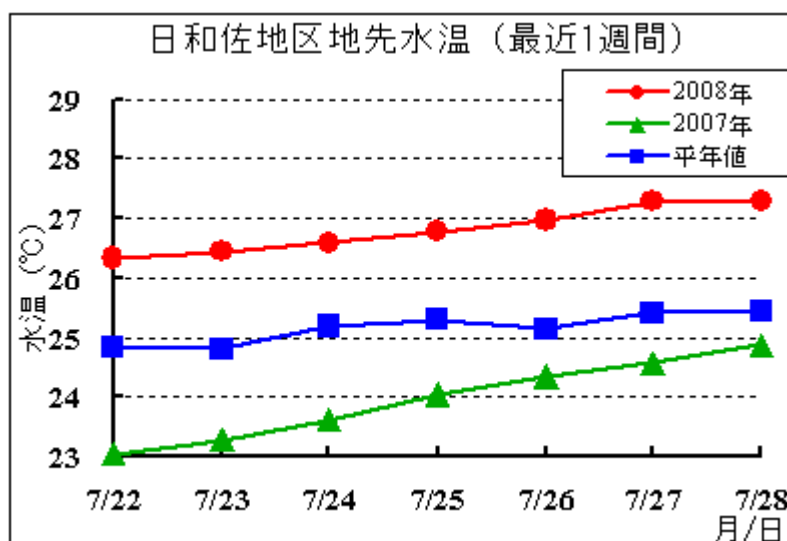
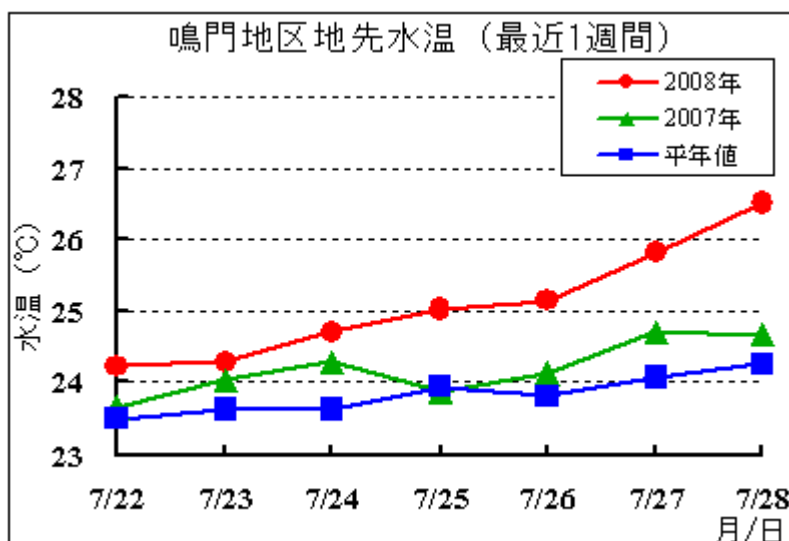
漁業調査船「とくしま」が7月14,17,23日に行った海部沿岸海区の海洋観測では、水温は表層が「高め」の26.9℃、10m層が「やや高め」の25.0℃、20m層が「平年並み」の22.9℃、30m層が「やや低め」の21.4℃、50m層が「低め」の18.2℃、100m層が「かなり低め」の13.5℃であった。

海部沿岸海区観測結果 (観測日 2008/07/14,17,23)

水温	水深						塩分	水深					
	表層	10m	20m	30m	50m	100m		表層	10m	20m	30m	50m	100m
今年値	26.9	25.0	22.9	21.4	18.2	13.5	今年値	33.3	33.4	33.9	34.1	34.5	34.5
平年偏差	2.3	1.3	0.1	-0.6	-1.8	-3.3	平年偏差	0.2	0.0	0.1	0.1	0.1	-0.1
前年偏差	2.9	1.9	0.5	0.6	0.2	-1.1	前年偏差	1.9	0.8	0.5	0.3	0.0	-0.1

地先水温

最近1週間の地先水温は、鳴門地区は「平年並み」～「やや高め」の22.2～23.4℃、日和佐地区は「やや高め」の24.7～25.4℃、牟岐地区は「やや高め」～「高め」の24.2～26.0℃で推移した。



2. 漁況の経過

小型定置網:海 部沿岸で、アオリイカが0.2トン(1日1隻当たり26kg)、ウルメイワシが3.3トン(同102kg)、小小主体にカマス類が1.7トン(同24kg)、小主体にカンパチが0.3トン(同9kg)、キビナゴが0.3トン(同34kg)、小主体にマアジが2.5トン(同34kg)水揚げされた。

釣り:海部沿岸で、大主体にイサキが0.4トン(同10kg)、大・小主体にゴマサバが0.3トン(同51kg)、マルソウダが0.6トン(同77kg)、紀伊水道で、特大・大主体にタチウオが0.5トン(同15kg)水揚げされた。

パッチ網:紀伊水道で、シラスが56.1トン(同425kg)水揚げされた。

漁業種類別漁獲量集計表(抜粋) 07月21日～07月27日 県下7漁協からの聞き取り

漁業種類	漁獲海域	魚 種	延べ出 漁隻数	漁獲量 (kg)	1日1隻当たり 漁獲量 (kg)	銘柄・その他
小型定置網	海部沿岸	アオリイカ	8	207	26	
		ウルメイワシ	32	3,266	102	
		カマス類	72	1,732	24	小小主体
		カンパチ	39	336	9	小主体
		キビナゴ	10	338	34	
		マアジ	73	2,475	34	小主体
釣り	海部沿岸	イサキ	37	373	10	大主体
		ゴマサバ	5	255	51	大・小主体
		マルソウダ	8	617	77	
パッチ網	紀伊水道	タチウオ	36	545	15	特大・大主体
		シラス	132	56,100	425	

特異事項:

播磨灘・紀伊水道内部において、潮目を中心にミズクラゲが分布している。

週間予報:

黒潮は、室戸岬及び潮岬で接岸で推移する見込み。

地先水温は、鳴門地先で「高め」の26℃台、日和佐地先で「高め」の27℃台で推移する見込み。

*水温偏差の目安

平年並み:±0.49以下, やや高め(やや低め):±0.50～1.49, 高め(低め):±1.50～2.49, かなり高め(かなり低め):±2.50以上